

令和5年度

依存症フォーラム

(薬物関連問題相談事業研修会)

「助けて」が言えない子どもたち
-市販薬の乱用・依存を例として-

薬物の乱用・依存、とりわけ若者を中心に市販薬や処方薬など身近な薬物への乱用・依存は社会的な問題となっており、またコロナ禍以降、若者の自殺についても深刻な状況が続いています。薬物乱用の背景には「生きづらさ」があり、「生きる手段」として薬物に依存せざるを得ない状況であるため、薬物を規制する対策のみでは、問題の本質が隠れてしまいかねません。

薬物関連問題について現状を知り、正しい知識を持つことで理解を深め、依存について一緒に考えましょう。

2024年

2月16日 金 14:00-16:00

山梨県立文学館 講堂 甲府市貢川1-5-35

講師

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
心理社会研究室長 嶋根 卓也 氏



1974年生まれ。東京薬科大学薬学部卒業、順天堂大学大学院医学研究科修了。薬剤師、医学博士。専門は公衆衛生学・疫学。薬物乱用・依存に関する全国調査を担当するほか、中高生を対象とした予防教育、少年院の薬物プログラムにも従事。厚生労働省「医薬品の販売制度に関する検討会」の参考人。近著として、「『助けて』が言えない子ども編」（こころの科学、2022年）（分担執筆）がある。

対象

一般県民、薬物乱用防止指導員、保健医療福祉関係者、行政機関職員、その他依存症支援に携わる者 等

申込方法

申込フォーム（QRコード、またはURL）、
若しくは裏面申込用紙に必要事項を記入の上、
令和6年2月13日（火）までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/4yTcHcrDy9>



令和5年度依存症フォーラム（薬物関連問題相談事業研修会）参加申込書

【送付先】
山梨県立精神保健福祉センター 佐藤 宛
①FAX 055-254-8647
②申込フォームURL
<https://forms.office.com/r/4yTcHcrDy9>



※スマホなどでQRコードの読み取りができる場合には、右上のQRコードからお申し込みください。

所属名	
所属機関	☐ 保健所 ☐ 市町村 ☐ 福祉事務所 ☐ 医療機関
	☐ 介護老人保健施設 ☐ 障害者支援施設
	☐ 社会福祉施設 ☐ その他
氏名・職種	
連絡先	(電話番号)
※複数名で申し込まれる場合は、代表者の連絡先を記載してください。	(メールアドレス)

お車でお越しの方は、第3駐車場をご使用ください。
駐車場が限られておりますので、乗り合わせにご協力をお願いいたします。

